

資料 2 - 2
科学技術・学術審議会
研究開発基盤部会
量子ビーム施設利用推進委員会
(第 6 回)
令和 8 年 2 月 12 日

参考資料 3
科学技術・学術審議会
研究開発基盤部会
量子ビーム施設利用推進委員会
(第 12 回)
令和 8 年 7 月 27 日

第 6 回量子ビーム利用推進委員会

SPring-8-II 整備プロジェクトの進捗

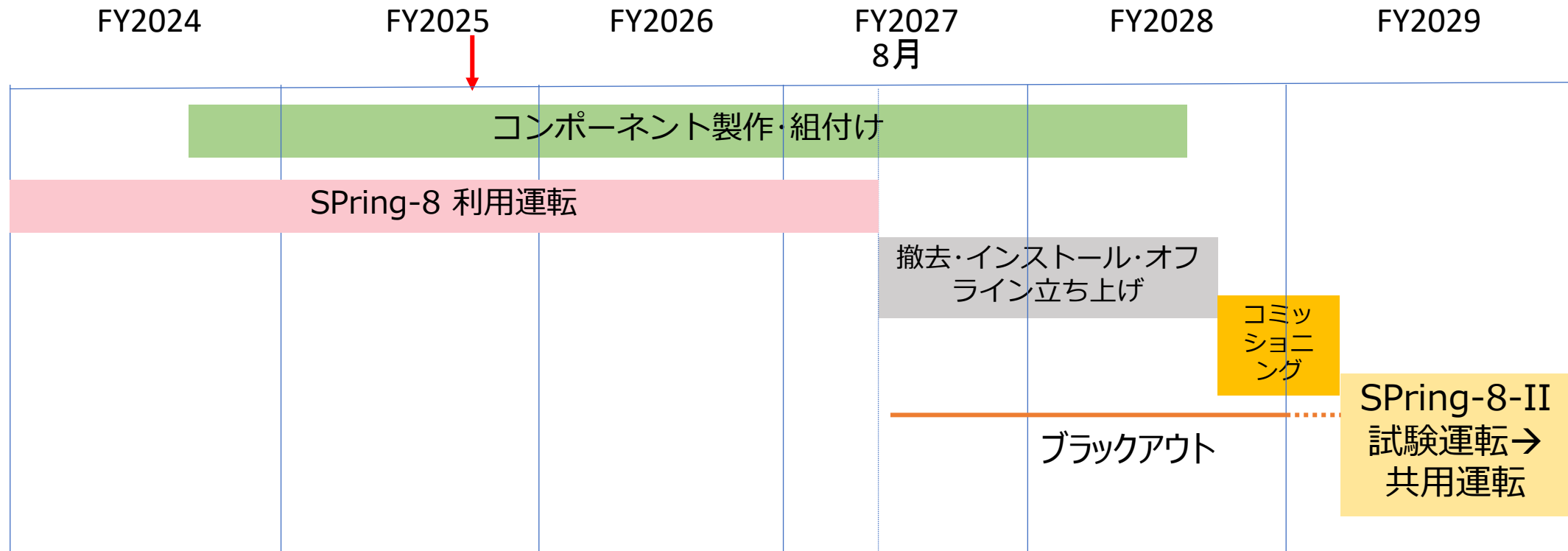
理化学研究所 放射光科学研究センター
矢橋 牧名

目次

1. プロジェクトの進捗
2. ビームライン再編
 1. Phase 1 (2018-2024)
 2. Phase 2 (2025-2028)、重点ビームライン4本
 3. Phase 3 (2029-)
3. ブラックアウト～立ち上げ
4. 利用制度
5. 情報共有

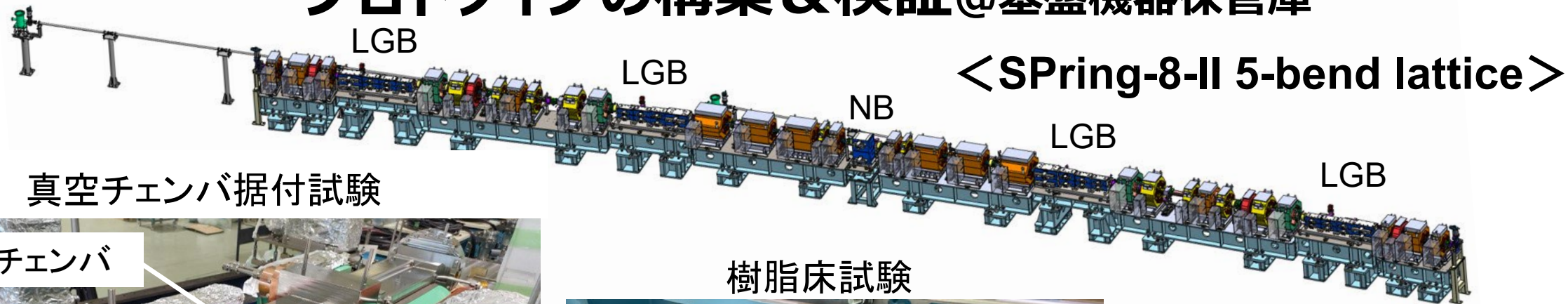
整備プロジェクトの概要・マスタースケジュール

- 整備期間: 2024年度~2028年度、予算: 499億円
- 現SPring-8の運転: 2027年夏まで
- 撤去 → 新加速器のインストール・オフライン立ち上げ: ~2028年末
- コミッショニング → SPring-8-IIの利用運転: 2029年度

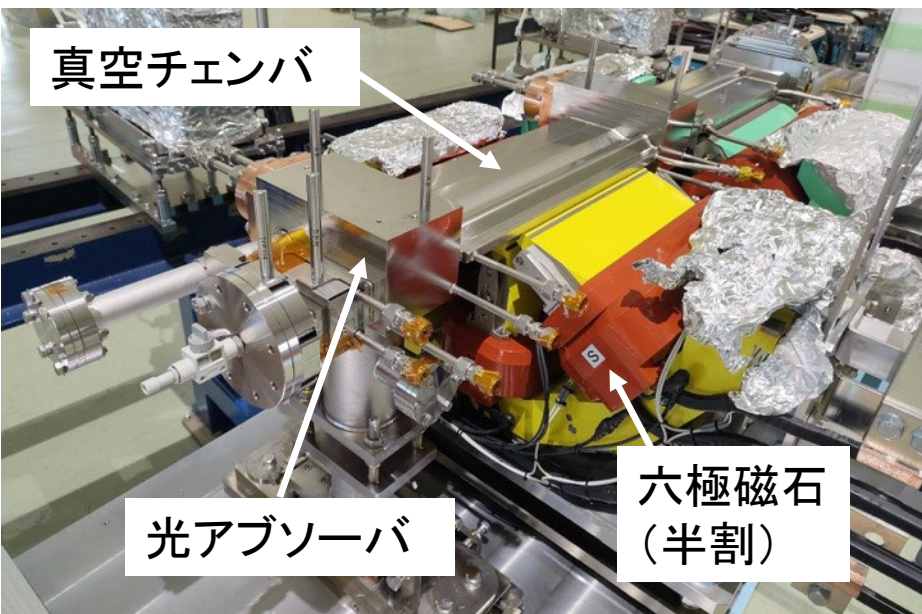


加速器整備の進捗

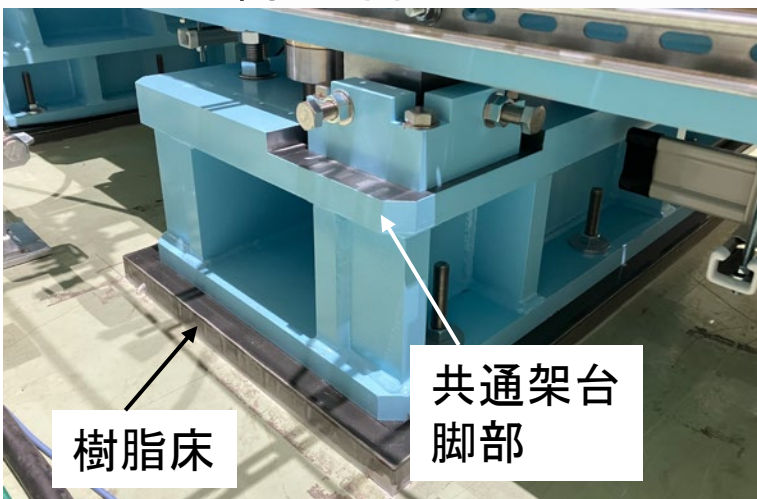
プロトタイプ構築 & 検証@基盤機器保管庫



真空チェンバ据付試験



樹脂床試験



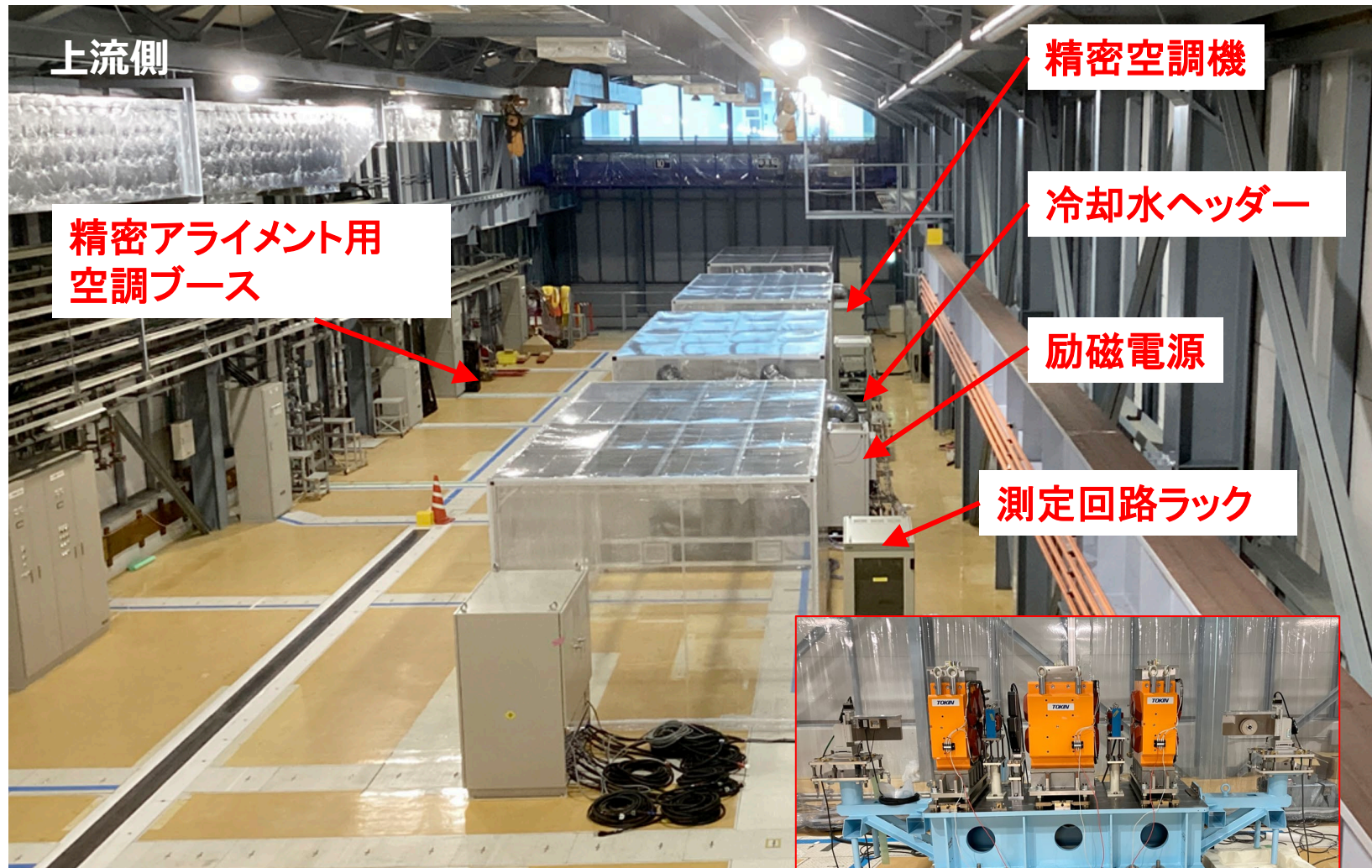
- 機器群の干渉チェック
- 設置手順の最適化・工程短縮

量産マグネットの納品と精密アライメント設備

@旧1GeV線形加速器棟



下流側



上流側

精密アライメント用
空調ブース

精密空調機

冷却水ヘッダー

励磁電源

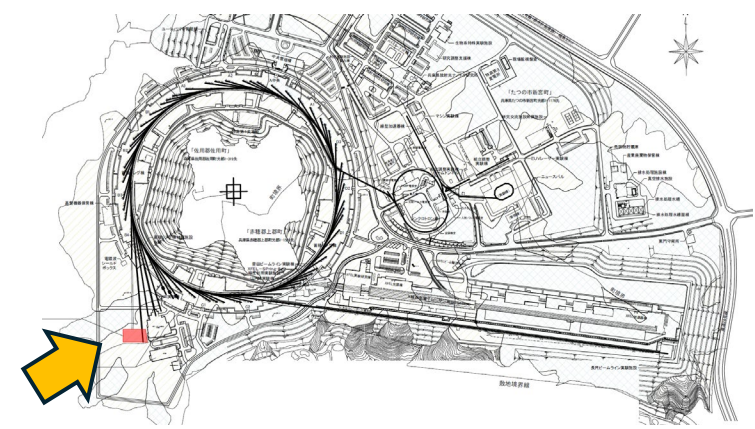
測定回路ラック

精密アライメントシステム



中尺実験棟II

- 真空チャンバーの納品とベーキング
- II完成後には中尺実験ホールに



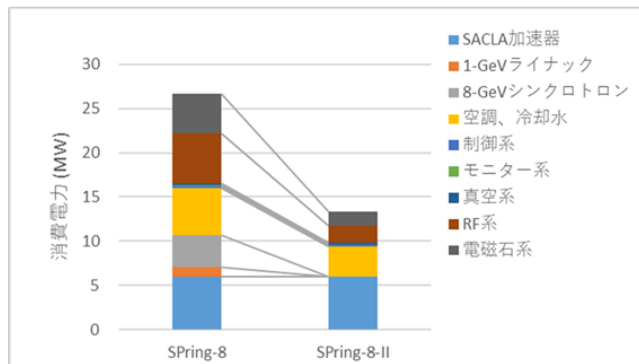
2025/12/5

コアコンセプト

現状より100倍以上明るい世界トップ性能を、大幅な省エネと両立させ、省コストで実現

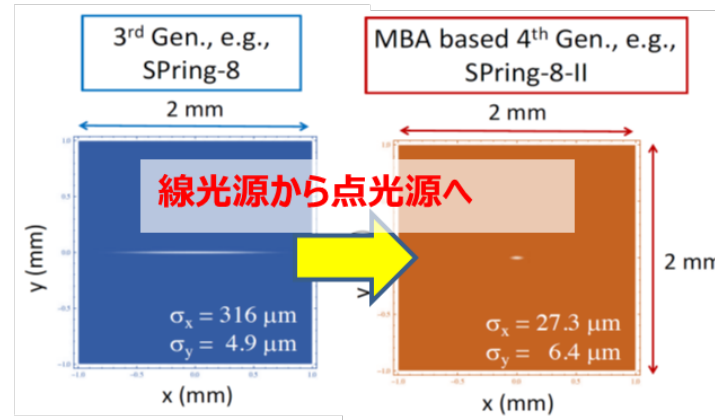
省エネ

- 加速エネルギーの低減 (8GeV → 6GeV)
- 偏向部の永久磁石化と冷却系の負荷低減
- 既存入射器の停止



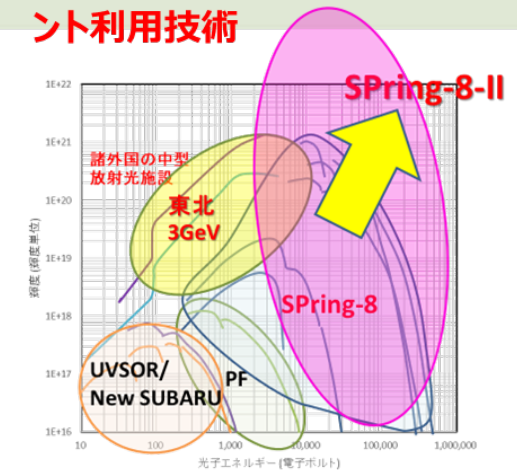
加速器テクノロジー

- マルチバンドアクロマツト(MBA) 技術による**極低エミッタンス**
- **極短周期**アンジュレータ
- **SACLA**線形加速器からのビーム入射

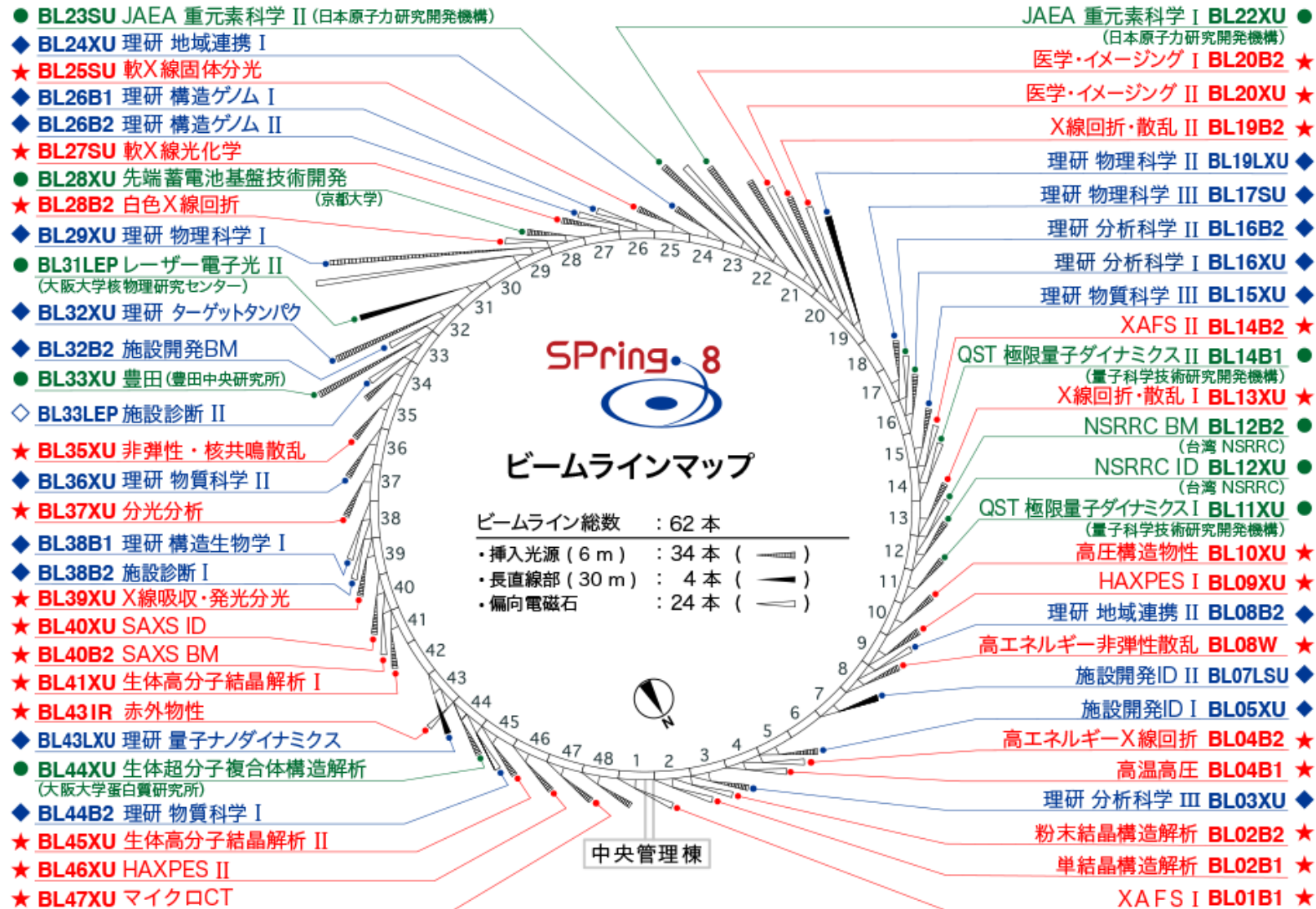


世界トップ性能

- **輝度の劇的な向上** (長尺アンジュレータにより**輝度世界一**)
- 極めて明るい**高エネルギーX線**の生成 (100倍以上)
- 世界トップの**ナノビーム・コヒーレント**利用技術



ビームラインマップ



ビームライン再編・高度化 Phase 1 (2018~2024)

- ・ 適正配置 ●
- ・ プロダクション装置 ●
- ・ 先端分析 ●
- ・ 高エネルギー ●

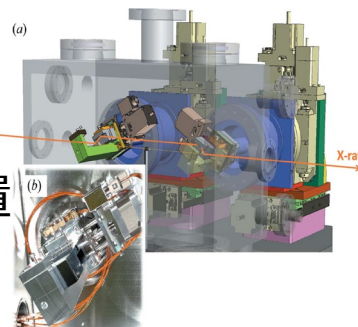
分光

BL09XU/BL46XU



HAXPES

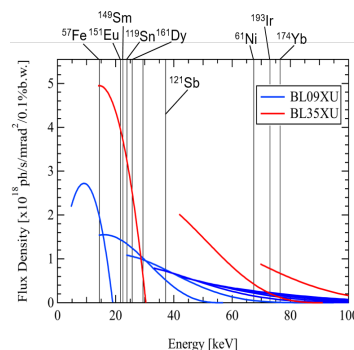
- ・ DCCMのOH内設置
- ・ Wolterミラー
- ・ EHアクセスモード



BL35XU ● ● ●

NRS

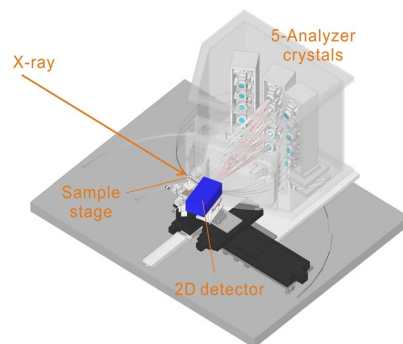
- ・ HRMのOH内設置
- ・ 専用ST
- ・ 短周期アンジュレータ



BL39XU ●

HERFD-XAS

- ・ 専用EH
- ・ DXPR
- ・ Wolterミラー



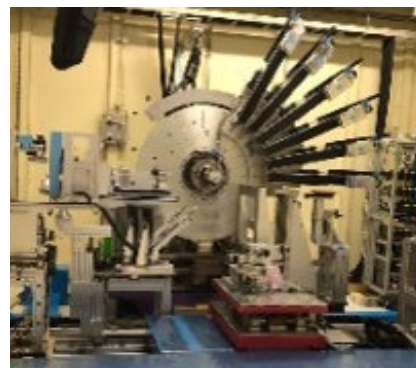
回折

BL13XU



アドバンスドXRD

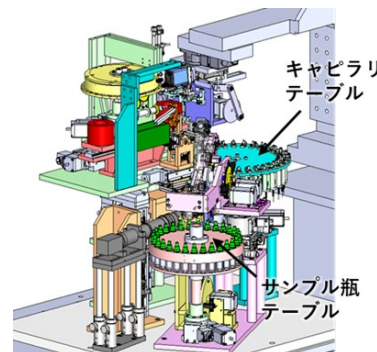
- ・ 高エネルギー単色X線 (<72 keV)
- ・ オペランドXRD



BL02B2 ●

プロダクション粉末XRD

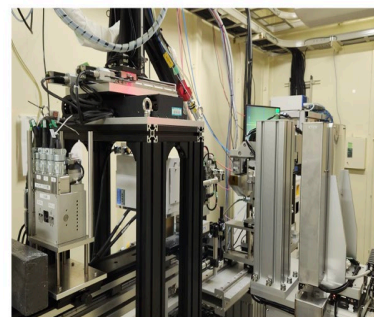
- ・ キャピラリ自動充填装置



BL04B2 ● ●

プロダクションPDF

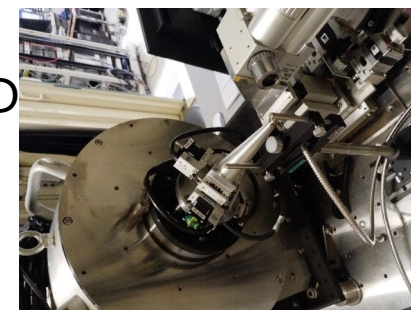
- ・ 113 keV 高次光低減モノクロ



BL05XU ● ●

微小単結晶XRD

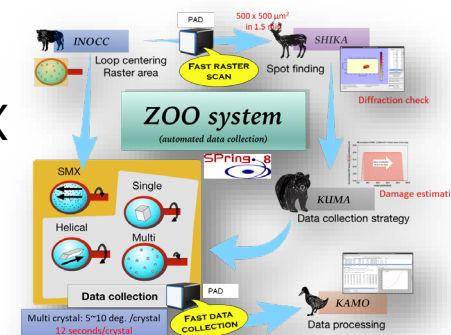
- ・ Eiger → CITIUS



BL45XU ●

プロダクションMX

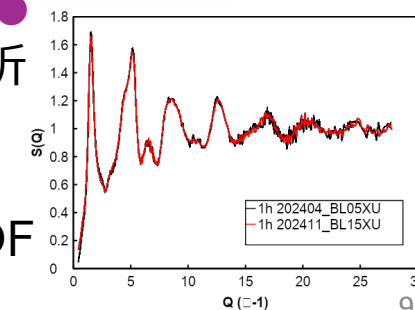
- ・ Zoo system



BL15XU ● ● ●

高エネルギー回折

- ・ イメージング
- ・ 3DXRD
- ・ 高温高压PDF
- ・ LVP

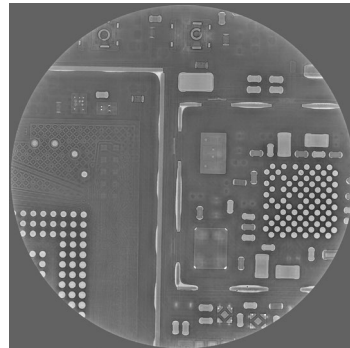


ビームライン再編 Phase 1 (2018~2024)

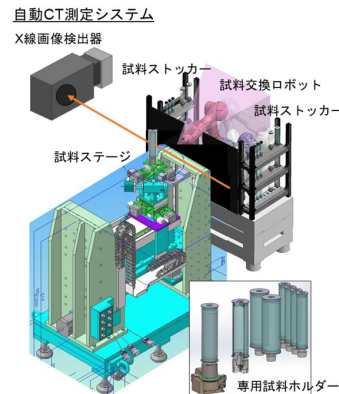
- ・ 適正配置 ●
- ・ プロダクション装置 ●
- ・ 先端分析 ●
- ・ 高エネルギー ●

イメージング・SAXS

BL20B2 ●●●●
大強度・大視野イメージング
・ DMM (40/110 keV)



BL28B2 ●●●●
プロダクションCT
・ 200 keVピンクビームZ
・ 自動CT

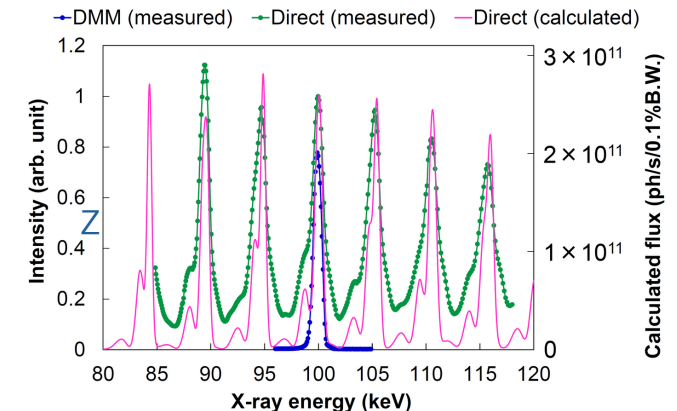


BL40XU ●●●●
プロダクションSAXS
・ モノクロ/ピンク切り替え
・ USAXS (カメラ長10 m)
・ Wolterミラー



R&D

BL05XU ●●●●
高エネルギーR&D
・ 100 keV DMM
・ イメージング・回折の
R&D



運営主体の更新

BL03XU: FSBL → 理研
BL07LSU: 東大 → 理研
BL08B2、24XU: 兵庫県 → 理研
BL15XU: NIMS → 理研 (→ 共用)
BL16XU, 16B2: サンビーム → 理研
BL33LEP: 阪大 → 理研
BL36XU: 電通大 → 理研

ビームライン再編 Phase 2 (2025~2028)

- **ベースライン: 既存BLの新光源への接続** (43IRを除く)
 - アンジュレータ更新
 - B2ラインの再アライメント
 - エンドステーション移設 (B1ライン、SX等)
 - ハイスループット・AI
 - ネットワーク・リモート・セキュリティ
- **共用26本のラインナップ**
 - 共用BLとして継続: 21本
 - 01B1、02B2、04B2、09XU、10XU、13XU、14B2、15XU、20XU、20B2、25SU、28B2、35XU、37XU、39XU、40XU、41XU、40B2、45XU、46XU、47XU
 - 理研BL・専用BL→ 共用BLへの転換: 5本
 - 08B2、17SU、19LXU、31DW、44B2
- **重点整備4本**
 - 19LXU、31DW、37XU、41XU
- (参考) 共用BL→ 理研BLへの転換: 重い整備を要するBL
 - 08XU、19B2、27XU 等

重点① BL19LXU

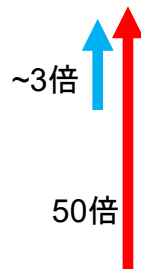
長尺アンジュレータからの高輝度X線を活かしたカスタム実験
未踏領域の開拓を強力に推進

原子核時計(核共鳴)

nature

アクシオン探索(素粒子)

SP8-II BL19LXU



SP8-II 標準ID
(24 mm)

ストレンジメタル(核共鳴)

Science

局所光学応答解析(非線形光学)

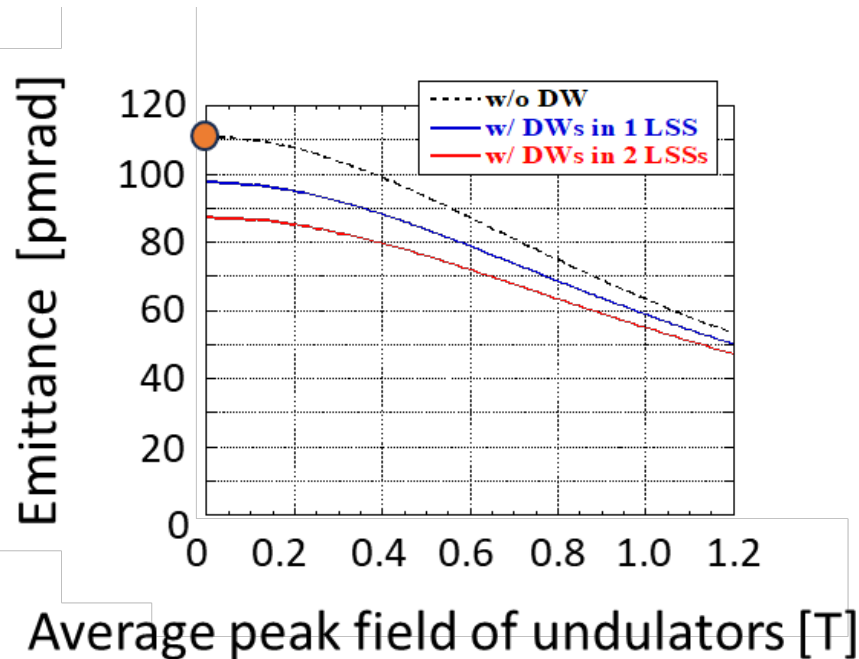
SP8 BL19LXU

時間分解HAXPES(HAXPES)

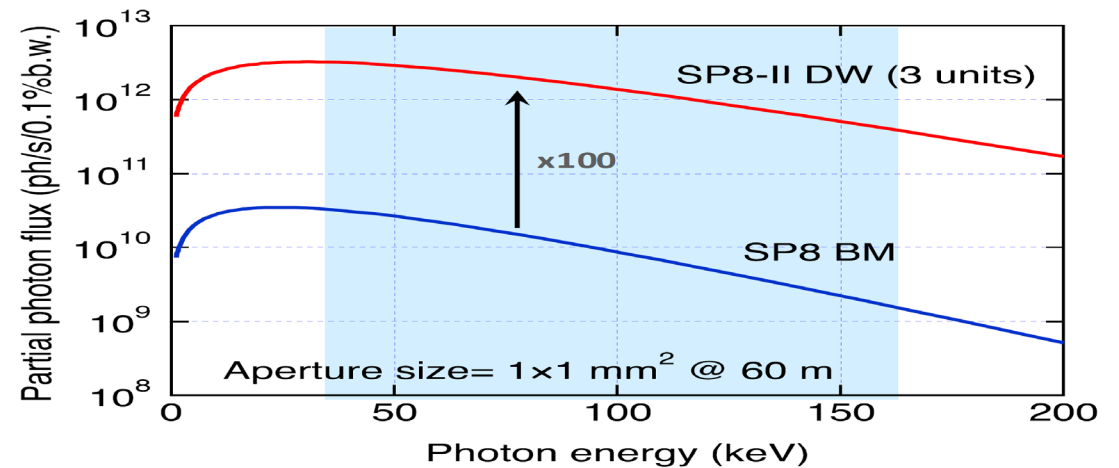
ゴーストイメージング(量子光学)

空間変調器(X線光学)

重点② BL31DW



- ダンピングウィグラーの放射減衰によるエミッタンス低減
- アンジュレータ + DW
110 → **50 pm.rad**
- エミッタンスコンペンセーション



※DWは検討中の暫定値
($\lambda_u = 160 \text{ mm}$ $N=14$)

😊 **ブロードバンドの高エネルギーX線源**

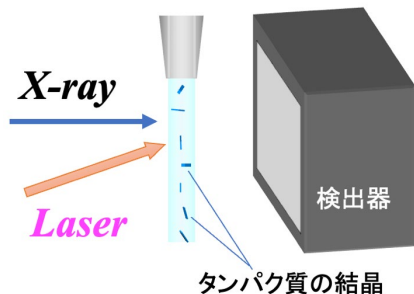
- 😊 100 keV超で現SP8のBM-BLの2桁上のフラックス
- 😞 コヒーレンス度は低い
- 😞 トータルパワー75 kW → 熱設計の難度が高い



- 検討中の装置: LVP、高分解能コンプトン散乱
- 慎重に立ち上げ
- Axion探索の可能性?

重点③ BL41XU

Serial Synchrotron Crystallography (SSX) 法による時分割構造解析



SACLAとともに、様々な化学反応のメカニズムを分子レベルで解明

バンド幅 1%のピンクビーム

→ チョッパーで切り出したパルス幅10～100 μ sのX線を用いたシリアル法による回折データ測定

→ ミリ秒～の時分割構造解析

酵素反応の時分割構造解析

ニトリル水和酵素

アクリルアミド(総生産量の70%)やニコチンアミドの工業生産に広く利用されている

Kayanuma M. *et al.*, *J Phys Chem B.*, **120**, 3259-3266 (2016)

理論計算により提案されている反応機構

広い時間領域をカバーする生体高分子の時分割構造解析環境の実現

秋田大学 尾高先生との共同研究

重点④

BL37XU for High Spatio-Temporal Resolution XAS (HiSTR-XAS)

- **高空間 and/or 高時間分解能の硬X線分光** ← BL39XU (HERFD-XAS, Pol-XAS) と相補的
- qXAFS: テーパーIVU-II、qCCMの導入
- イメージング: AKB 結像光学系の導入 → 色収差フリー、空間分解能50 nmのXAFSイメージング
- 4~123keVの高輝度XAFS/XRF (Ca以降の全ての天然元素K吸収端)
- 将来のコヒーレントXASへのアップグレード (phase 2) も可能とするインフラをつくる

Real-time mapping of chemical states

Kimura et al., Small Methods (2023)

Nano analysis of ultra-trace elements

Yakumaru et al., Eur. Phys. J. Plus (2025)

ビームライン再編・高度化 Phase 3 (2029~)

- 第4世代光源としての本格利用期
- IIの光をみながら整備を継続
 - 高エネルギーイメージング: 08XU、19B2 等
- グリーンフィールドの議論
 - 27XU 等
- タイムリーな予算確保
- 中身を詰める議論
- 若手の参画

ESRF-EBS、Human Organ Atlas Project
Walsh et al., Nature Methods (2021)

第4世代光源の歩き方

ビームはガンガン絞れます



単なるダメージ試験？

速く、サクサク測る

検出器、データ処理

CITIUS

→ 初井さん



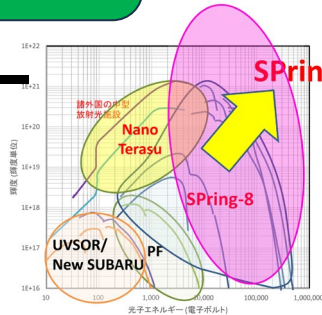
低吸収、低ダメージ

高エネルギー



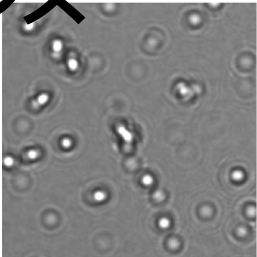
「微」から「有」を

AI解析



高感度

コヒーレンス



→ Wahib Mohamed さん



銅のバーをレーザーで加工
内部の加工痕をみる

SPring-8-II

100 keV ピンクビーム

高エネルギー x コヒーレンス
ユニバーサルに

preliminary

Yamaguchi, Yamada et al.

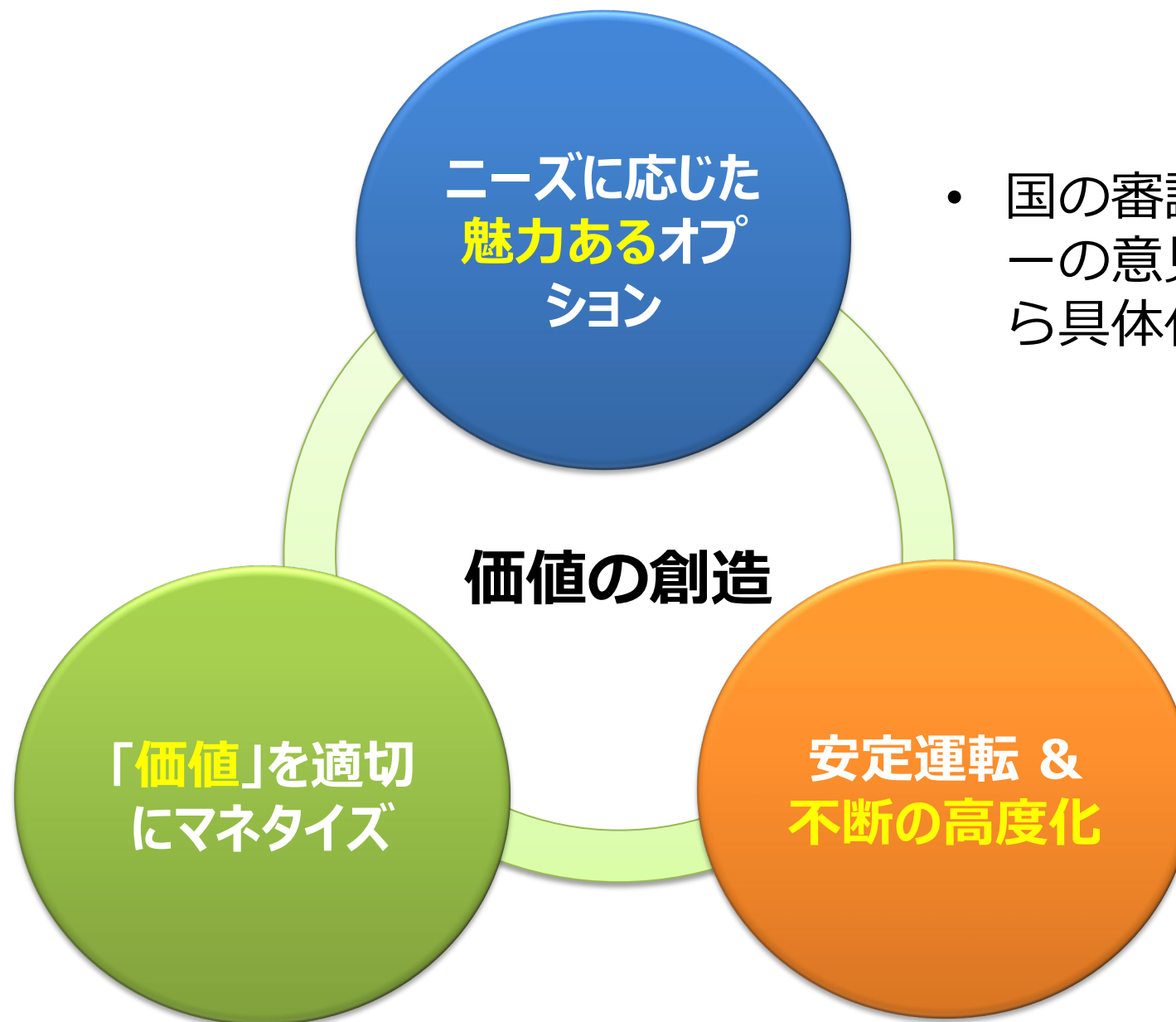
従来の吸収コントラスト
at 100 keV (d=8 mm)

ホログラム at 100 keV
(d=8.4 m, 20 um slit in H)

ブラックアウト~立ち上げ

- 2027年8月~2028年末: 完全停止
 - 2029年1月~4月頃: 加速器・ビームラインの立ち上げ
 - 2029年5月頃~: 準備ができたビームラインから**試験利用**開始
 - 2029年秋~: 大半のビームラインで**共用**開始
-
- ブラックアウト期間: 産業ユーザーの重点支援
 - 国内施設: ナノテラス、PF/PF-ARを中心に関係機関で協議中
 - 成果専有利用が必要
 - SAXS、粉末XRD、XAFS、PXはある程度対応可能
 - イメージング、HAXPESも検討中
 - SACLAも利用可能
 - 早急に具体化を進める
- 施設間連携の強化**
- SACLA産業利用の推進**

新たな利用制度の検討



- 国の審議会の議論、ユーザーの意見等を踏まえながら具体化

まとめ

1. 加速器整備の進捗
2. ビームライン再編
 1. Phase 1 (2018-2024)
 2. Phase 2 (2025-2028)、重点ビームライン4本
 3. Phase 3 (2029-)、高エネルギー、コヒーレンス
3. ブラックアウト～立ち上げ
4. 利用制度

情報共有・議論の場

- SpRUC BL's アップグレードワークショップ
 - 3月24日～25日 @SACLA大会議室
- SPring-8利用推進協議会 総会
 - 4月14日 @神戸
- SACLA産業利用ワークショップ
 - 3月5日 @SACLA大会議室